

ULVAC

株式会社 アルバック

# 決算説明資料

2022年度 第2四半期 2022年7月~2022年12月

2023年2月14日

証券コード：6728

Breakthrough 2022

## 将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。



## 1. 22年度上期 連結業績概要

- 受注高：半導体電子好調継続・FPD反動減で前年同期比▲11%も、概ね計画どおり
- 売上高：部品長納期化等の影響もあり計画比▲6%だが、前年同期比5%増
- 営業利益：開発関連等の販管費増加により前年同期比▲8%

【単位：億円】	FY21 1H	FY22 1H	前年同期比	FY22 1H計画	計画比
受注高	1,446	1,291	-11%	1,320	-2%
売上高	1,057	1,114	+5%	1,180	-6%
営業利益	114	105	-8%	135	-22%

## 2. 22年度通期業績予想の修正・アルバックを取り巻く環境

- 売上高2,300億円、営業利益240億円に修正
- 下期より売上高・営業利益（率）とも回復
- メモリ投資減速下でも、ロジック・パワーデバイス・各種電子デバイスの成長継続

## 3. 今後の成長戦略

- 次期中期経営計画（23年8月公表予定）：  
成長分野に開発投資を集中し、売上高3,000億円以上、売上総利益率35%以上、  
営業利益率16%以上を目指す



# 2022年度上期 連結業績概要

# 1. 2022年度上期業績概要

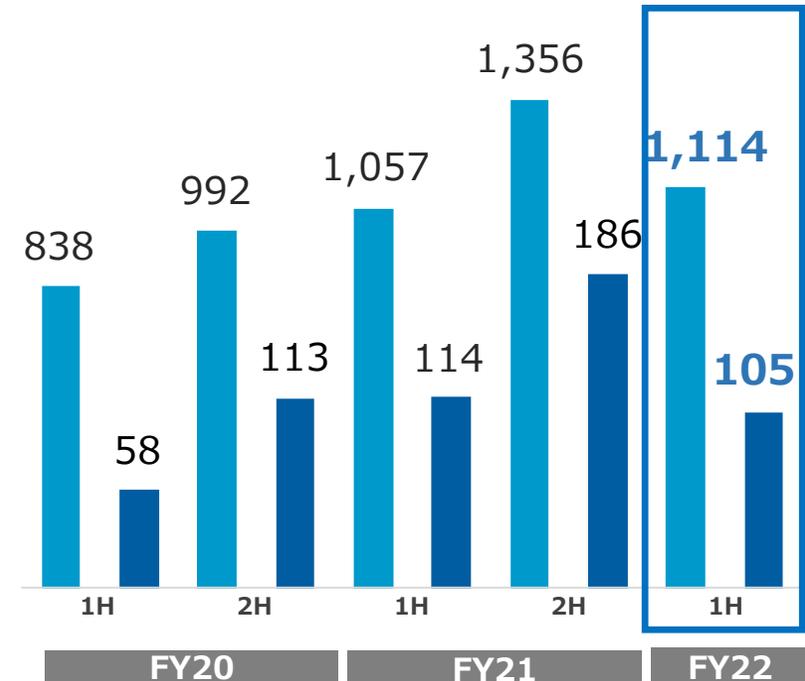
- 受注高：半導体電子が伸びるもFPDの反動減で前年同期比▲11%だが、概ね計画どおり
- 売上高：部品長納期化等の影響もあり計画比▲6%だが、前年同期比5%増
- 営業利益：開発関連等の販管費増加により前年同期比▲8%

【単位：億円】	2021年度 1H		2022年度 1H			
	実績	計画	実績	前年同期比	計画比	
受注高	1,446	1,320	1,291	-155 -11%	-29 -2%	
売上高	1,057	1,180	1,114	+57 +5%	-66 -6%	
売上総利益	321	-	333	+12 +4%	- -	
率	30.4%	-	29.9%	-0.5pt	-	-
販管費	207	-	228	+21 +10%	- -	
営業利益	114	135	105	-9 -8%	-30 -22%	
率	10.8%	11.4%	9.4%	-1.4pt	-	-2.0pt
経常利益	120	-	118	-3 -2%	- -	
率	11.4%	-	10.6%	-0.8pt	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	81	92	93	+12 +15%	+1 +1%	
率	7.7%	7.8%	8.4%	+0.7pt	-	+0.6pt

## 売上高と営業利益の推移

【単位：億円】

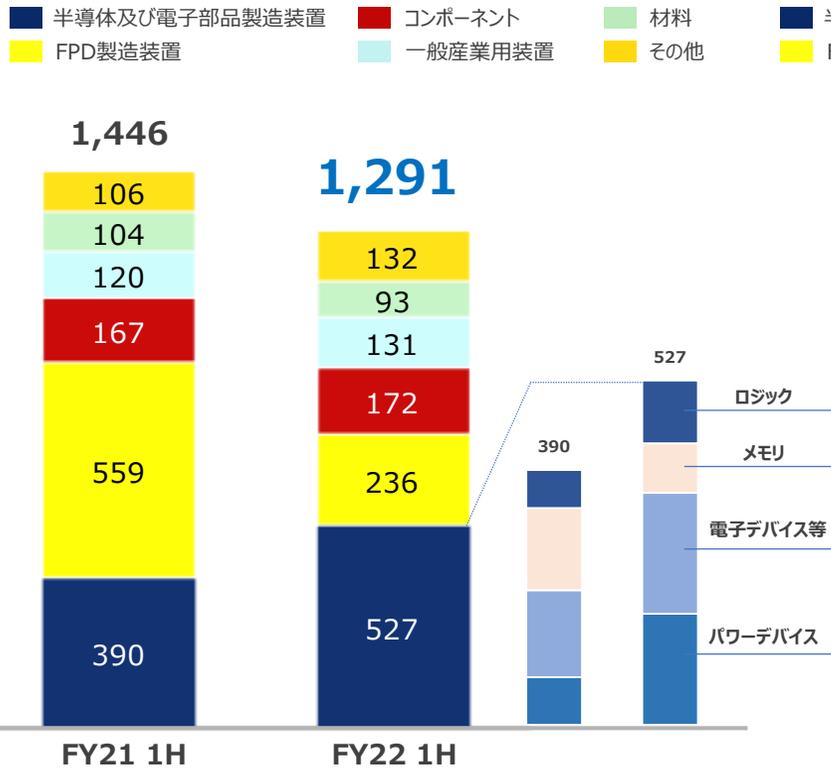
■ 売上高 ■ 営業利益



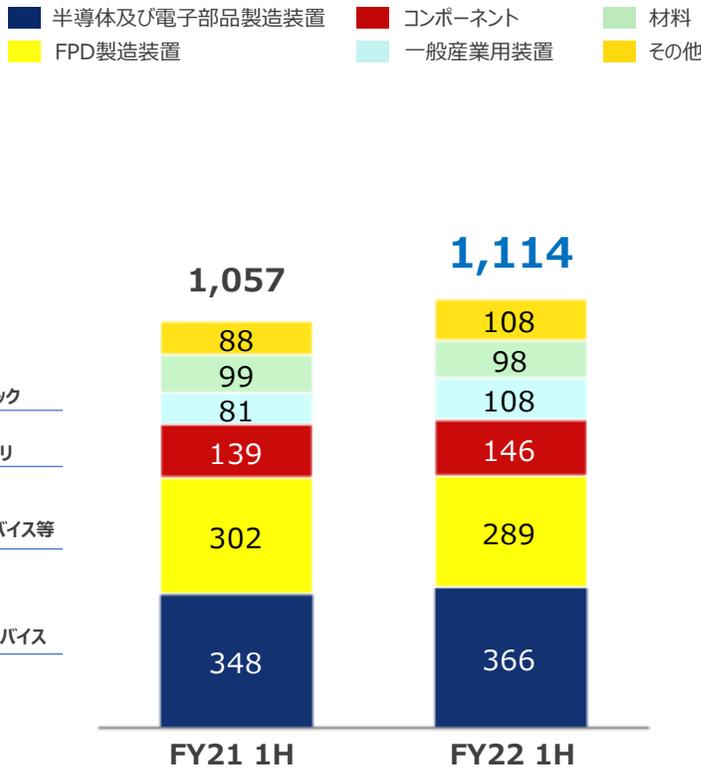
## 2. 品目別受注高・売上高：半導体・電子は着実に成長

- 受注高は利益率の高い半導体・電子 (+35%)、コンポーネント (+3%) が増加するも、FPDの反動減により前年同期比減少
- 売上高は前年同期比増加

### 受注高 【単位：億円】



### 売上高 【単位：億円】



### 受注高

- **半導体・電子**：メモリ等の設備投資減速も、ロジックの新工程・新規顧客の寄与、パワーデバイス・電子デバイス等の大幅増加により 前年同期比**1.4倍**
- **FPD**：前年度に活発化したITパネル用LCD投資の反動減により前年同期比減少
- **コンポーネント**：部品長納期化に伴う前倒し受注もあり好調

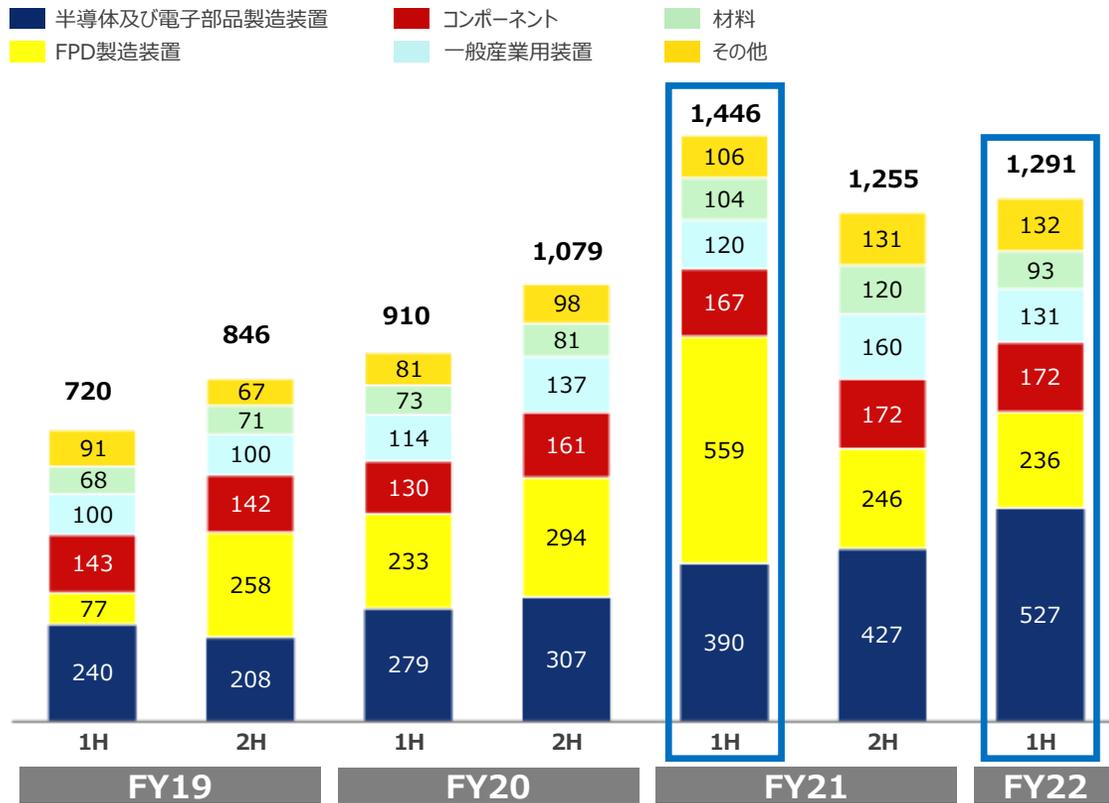
### 売上高

- 前年同期比増加

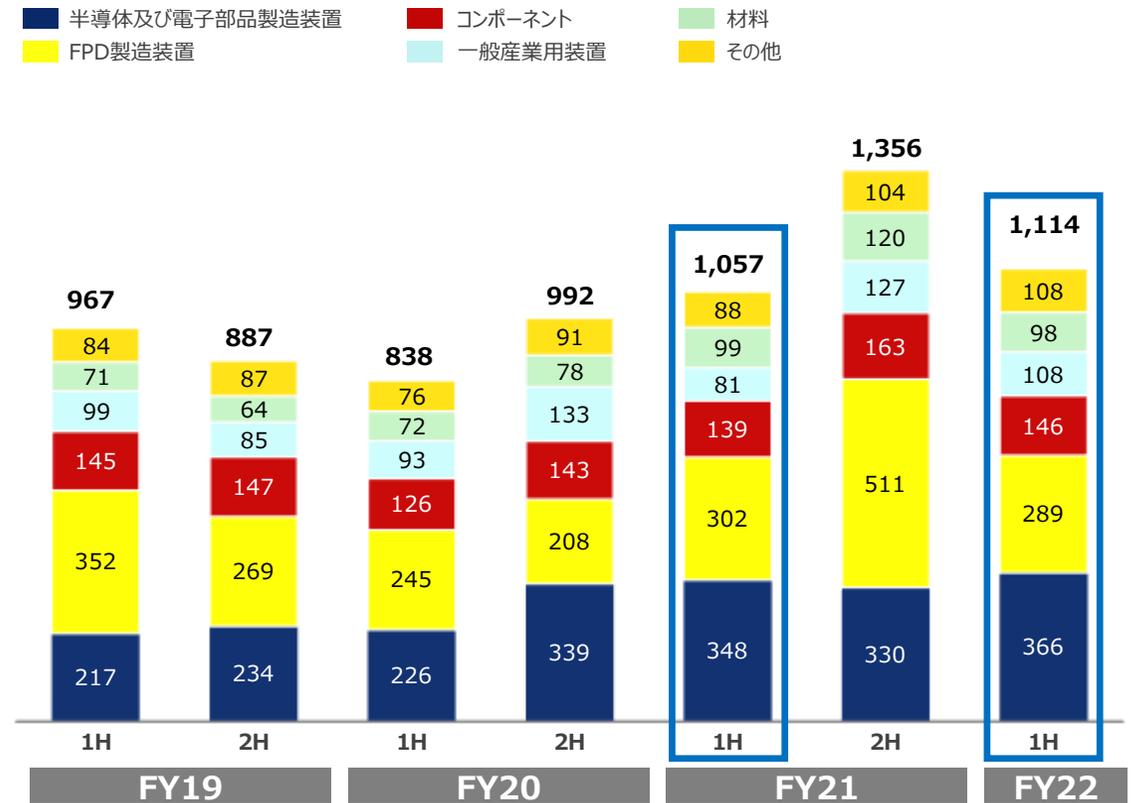
### 3. 品目別受注高・売上高推移：半導体・電子は着実に成長

- 半導体・電子はロジック・パワーデバイス・電子デバイス等が牽引して着実に成長
- 受注残高：1,361億円（前年度末比+158億円）

受注高 【単位：億円】



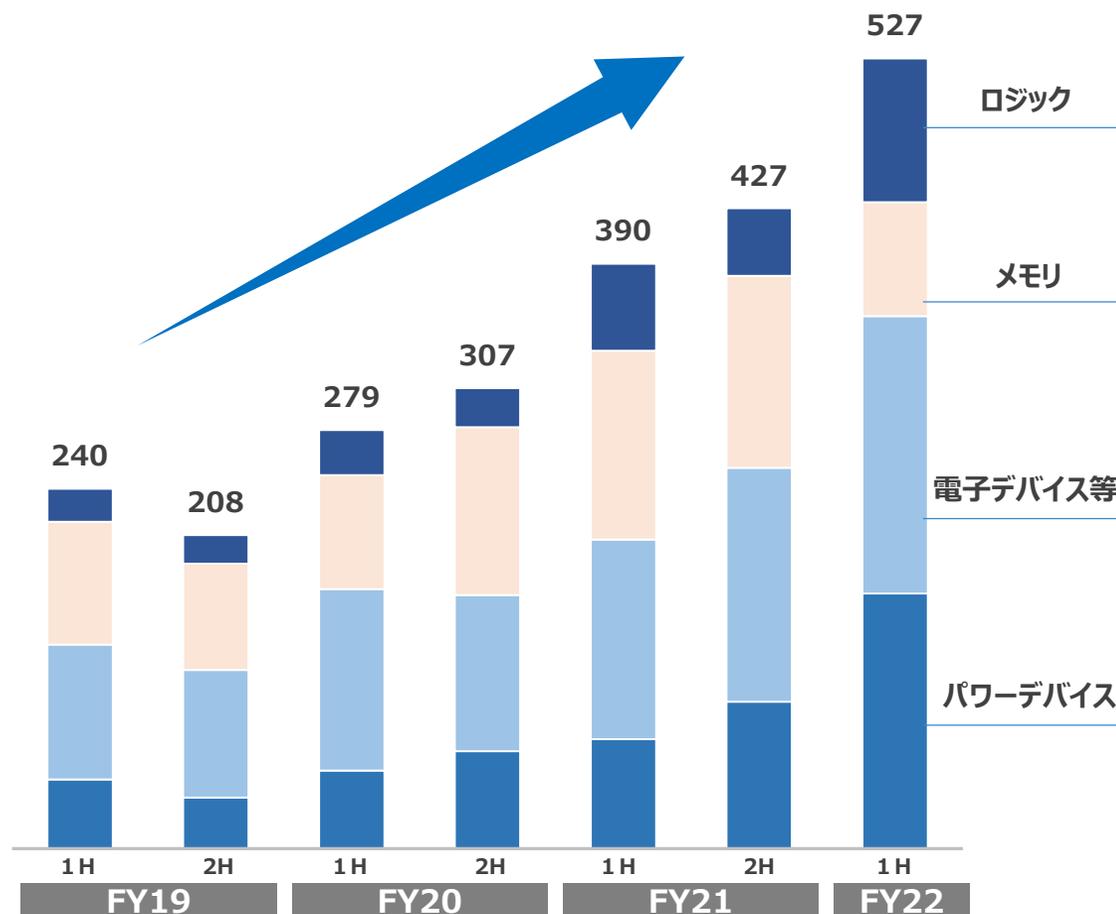
売上高 【単位：億円】



# 4. 半導体・電子の分野別受注高：ロジック・パワー・電子デバイス等が牽引

- ロジック・パワーデバイス・電子デバイス等が牽引し、日本・中国中心に着実に成長

半導体・電子の分野別受注推移 【単位：億円】



- ロジック

  - > MHM工程：先端ロジック投資が若干減速するも着実に成長
  - > 新規顧客：レガシー分野で新規取引開始
  - > 新工程：MHM工程高評価・セカンドベンダー期待⇒新工程参入実現
- メモリ

  - > メモリ：DRAM・NANDの投資減速
  - > 中国半導体輸出規制：新規取引開始を期待していたが困難な状況
- 電子デバイス等

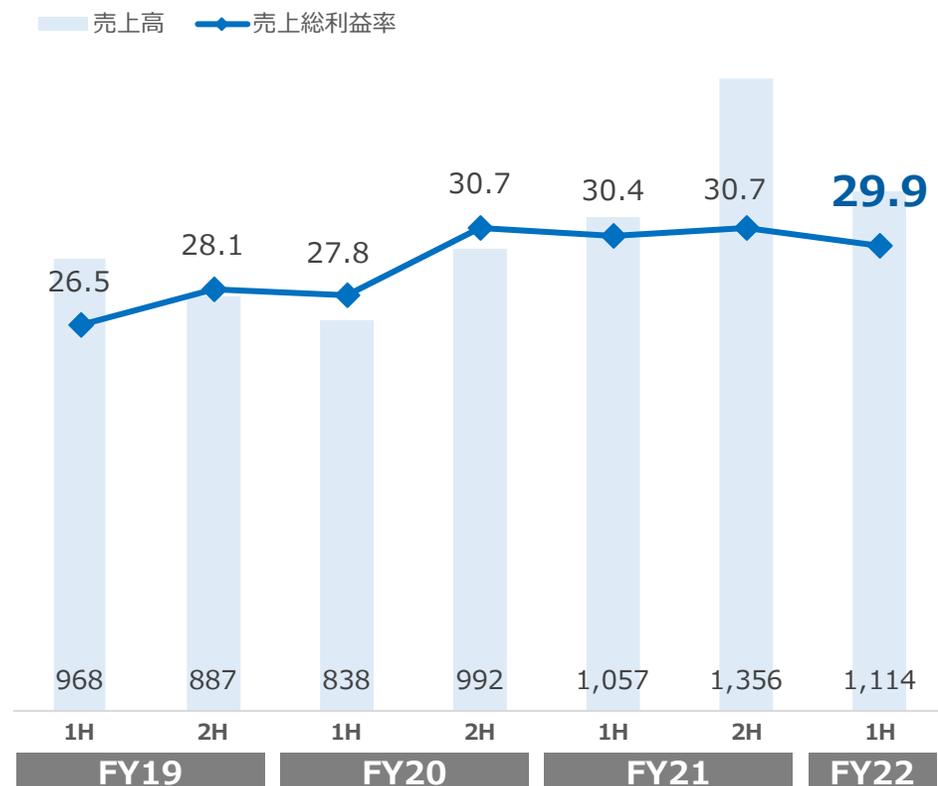
  - > オプトデバイス：AR/VR用μOLEDの大型案件受注
  - > 各種電子デバイス：技術革新投資・増産投資が高水準で継続
- パワーデバイス

  - > 日本：主要各社の中長期的な積極投資継続（IGBT・SiC）
  - > 中国：SiC投資拡大（国産化方針・地方政府支援）  
Si-MOSFET投資継続

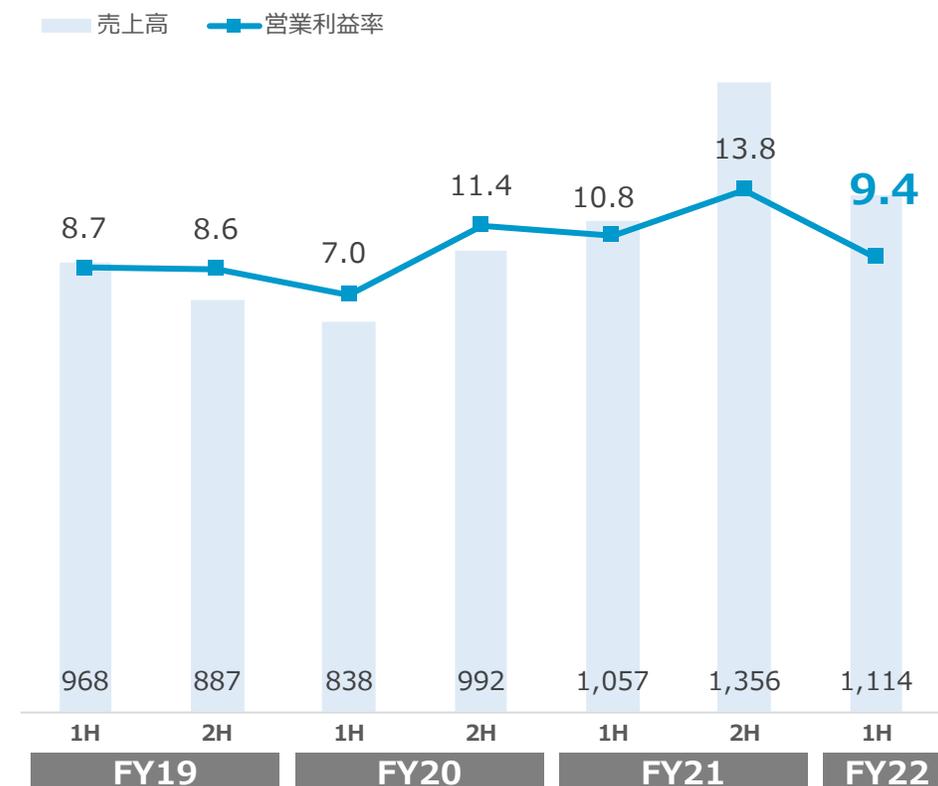
# 5. 半期利益率推移

- 前年度下期比、売上低下により売上総利益率（29.9%）・営業利益率（9.4%）とも低下

売上総利益率 【単位：億円、%】



営業利益率 【単位：億円、%】



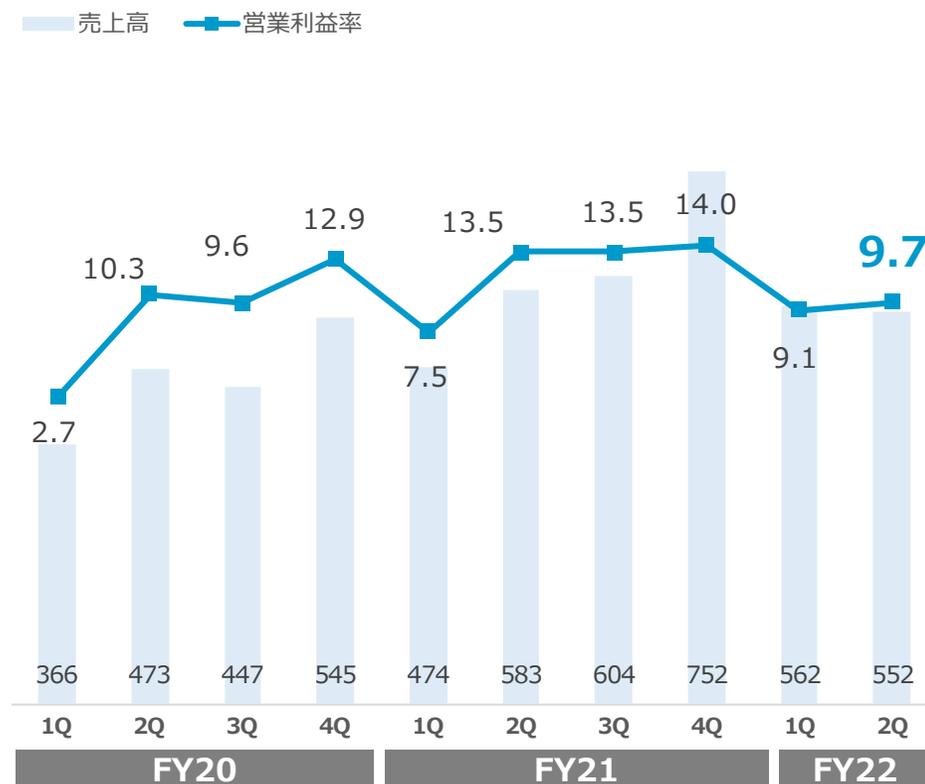
## 6. 四半期利益推移

- 前四半期比、半導体電子のミックス改善で売上総利益率（30.5%）・営業利益率（9.7%）とも改善
- 今後も半導体電子のミックス改善・売上増加等により利益率は改善

売上総利益率 【単位：億円、%】



営業利益率 【単位：億円、%】





# 通期業績予想の修正と アルバックを取り巻く環境

# 1. 2022年度通期業績予想の修正

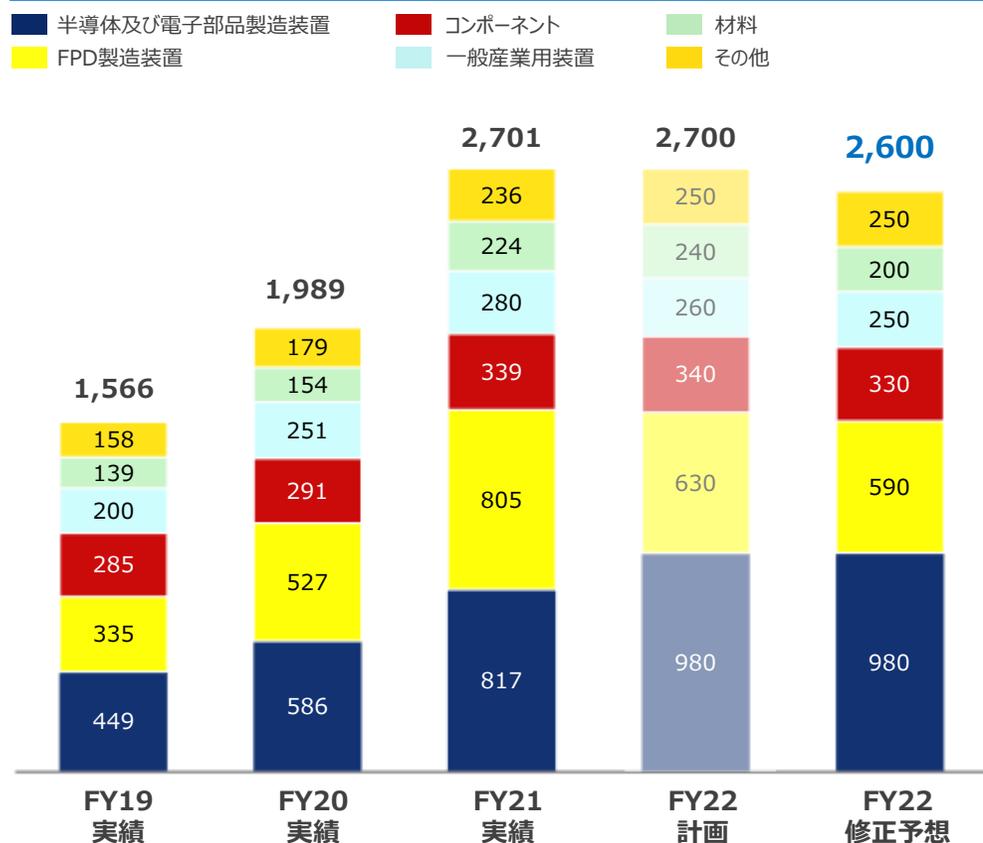
- FPD・マテリアルの受注高減少及び部品長納期化の影響で売上高及び営業利益の減少が見込まれることから、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正
- 下期より売上高・営業利益（率）とも回復

【単位：億円】	2021年度		2022年度			2022年度	
	実績	計画	修正予想	当初計画比	前年同期比	上期	下期
受注高	2,701	2,700	2,600	-100	-101	1,291	1,309
売上高	2,413	2,500	2,300	-200	-113	1,114	1,186
営業利益	301	345	240	-105	-61	105	135
率	12.5%	13.8%	10.4%	-3.4pt	-2.0pt	9.4%	11.4%
経常利益	322	355	275	-80	-47	118	157
率	13.3%	14.2%	12.0%	-2.2pt	-1.4pt	10.6%	13.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	202	230	200	-30	-2	93	107
率	8.4%	9.2%	8.7%	-0.5pt	+0.3pt	8.4%	9.0%

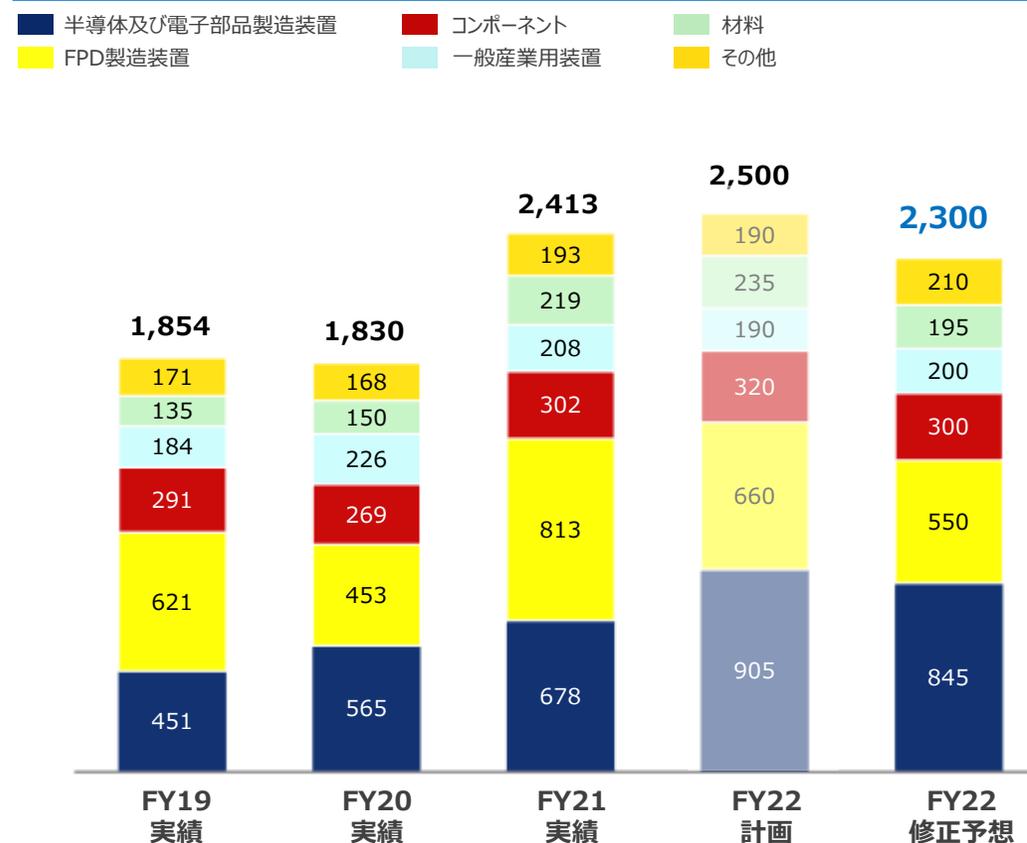
## 2-(1) 受注高・売上高予想の修正

- 受注高は、FPD・マテリアルの計画未達見込み等により2,600億円を見込む
- 売上高は、受注高の計画未達、部品長納期化による売上貢献の遅れにより一時的に低下し、2,300億円を見込む
- 今年度末の受注残高は1,500億円前後の見込み

### 受注高 【単位：億円】



### 売上高 【単位：億円】

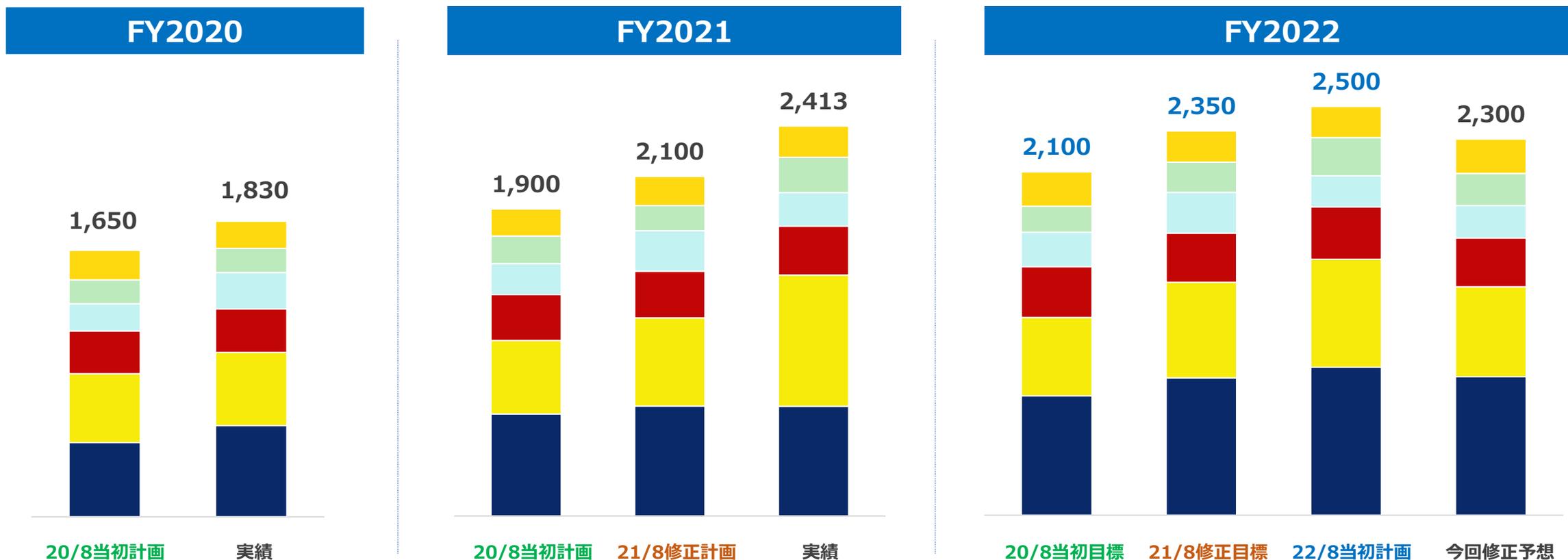


## 2-(2) 売上高目標の修正

- 20年8月策定の中期経営計画の目標売上高を毎年上方修正（2,100億円⇒2,350億円⇒2,500億円）
- 20年度・21年度は計画を大きく上回る実績計上
- 今回の修正予想2,300億円は当初目標2,100億円を上回る水準

### 売上高

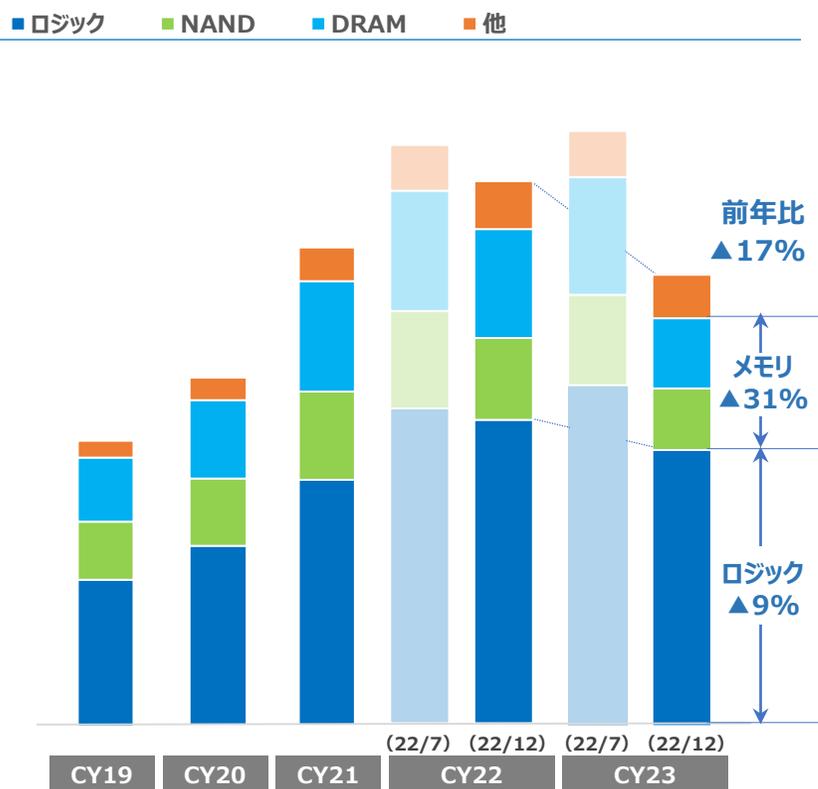
【単位：億円】



# 3. 半導体：ロジックMHMに加え新規顧客・新工程参入で成長

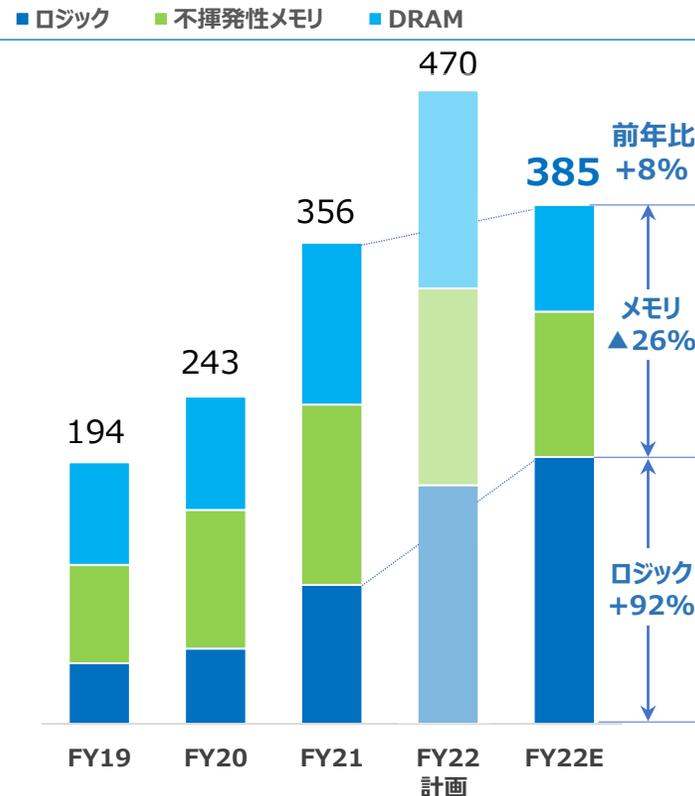
- ロジックのMHM工程・新規顧客・新工程参入により市場を上回る成長
- 中長期的な投資拡大傾向に変わり無く、特に24年度以降は、ロジック投資拡大に加え、メモリ投資の回復、米国等での投資拡大が見込まれ、大きな成長を見込む

## 半導体設備投資予測 【単位：bnUS\$】



出所：SEMI

## 受注見込み 【単位：億円】



## 今期受注：市場を上回る成長

### メモリ

- メモリ投資減速、米国の中国半導体規制等により、前年同期比減少見込み

### ロジック

- MHM工程・新規顧客（レガシー分野）・新工程参入により前年同期比1.9倍を見込む

## 来期以降

### メモリ

- 23年度は横ばいを見込むが、新工程参入・メモリ投資回復に伴い24年度以降は受注拡大見込み

### ロジック

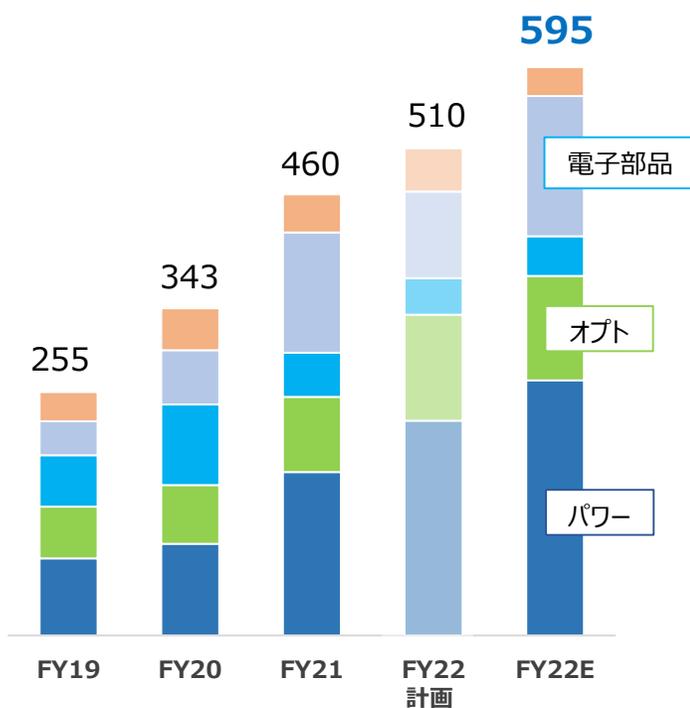
- MHM工程・新規顧客・新工程参入により、受注拡大継続
- 24年度以降は米国等地域サプライチェーン構築のための最先端投資も活発化

# 4-(1) 電子：パワーデバイス、日本・中国中心に成長

- パワーデバイス、オプトデバイス、電子部品関連等が日本・中国で投資拡大
- 来期以降もパワーデバイス・各種電子デバイス等の成長継続

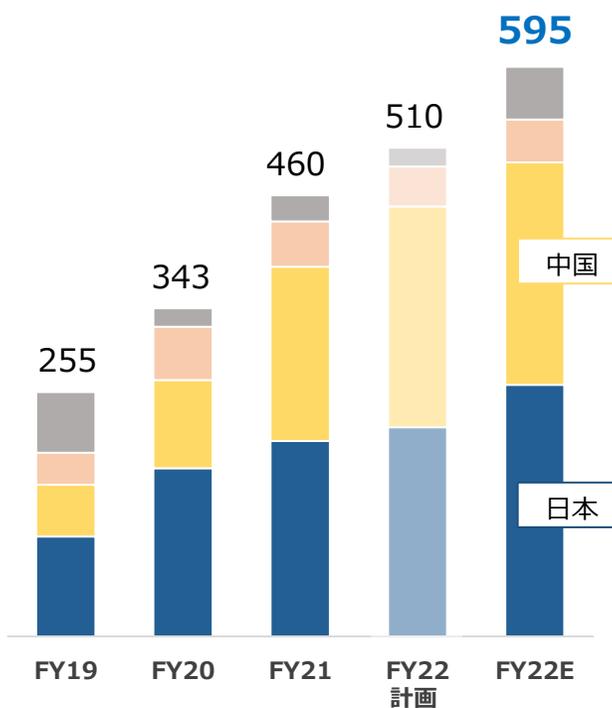
受注見込み（分野別） 【単位：億円】

- パワーデバイス
- オプトデバイス
- 通信デバイス
- 電子部品（MEMS）
- 実装



受注見込み（地域別） 【単位：億円】

- 日本
- 中国
- 台湾
- その他



## 今期受注

### パワーデバイス

- IGBT（日本中心）・SiC（中国中心）の増産投資拡大等で前年同期比1.3倍を見込む

### オプトデバイス

- μOLED関連投資が日本・中国で活発化

### 電子部品

- 技術革新投資・増産投資が高水準で継続

## 来期以降

- グリーンエネルギー化・EV化進展、中国の国産化政策等により、パワーデバイスの受注拡大継続
- スマート社会化・デジタル化+メタバース・リモート活用拡大等に伴い、各種電子デバイスの受注拡大継続

# 4-(2) 電子：パワーデバイスはグリーンエネルギー化・EV化で成長

## ● パワーデバイスは日本・中国中心に大きく成長（上期受注：前年同期比2.3倍）

### 日本

### 中国

上期受注割合

IGBT



高電圧・大電流

【市場環境】

8インチ増産投資継続 + 12インチ投資開始

【成長戦略】

主要各社との豊富な実績 + 高シェアの裏面電極用スパッタ装置  
→8インチシェア堅持、12インチ拡販

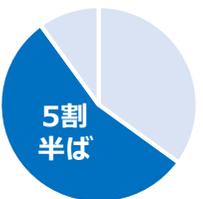
【市場環境】

12インチ設備投資開始  
(国産化方針・地方政府支援)

【成長戦略】

→12インチのイオン注入装置を積極拡販

SiC



高電圧・大電流

【市場環境】

8インチ増産投資本格化

【成長戦略】

主要各社との豊富な実績 + 高シェアの裏面電極用スパッタ装置  
→8インチ拡販

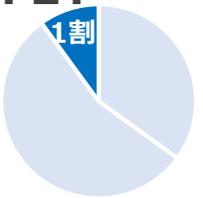
【市場動向】

6インチ増産投資拡大・SiCウェハー生産増強  
(国産化方針・地方政府支援)

【成長戦略】

SiC用イオン注入装置シェア7割以上 + エンジニア派遣常駐による技術営業力  
→6インチのイオン注入装置・スパッタ装置現地生産と拡販

Si-MOSFET



低電圧・低電流

【市場環境】

日本ではSi-MOSFET関連は投資済

【市場動向】

Low～Midエンド機器・家電製品等のインバーター化  
(国産化方針・地方政府支援)

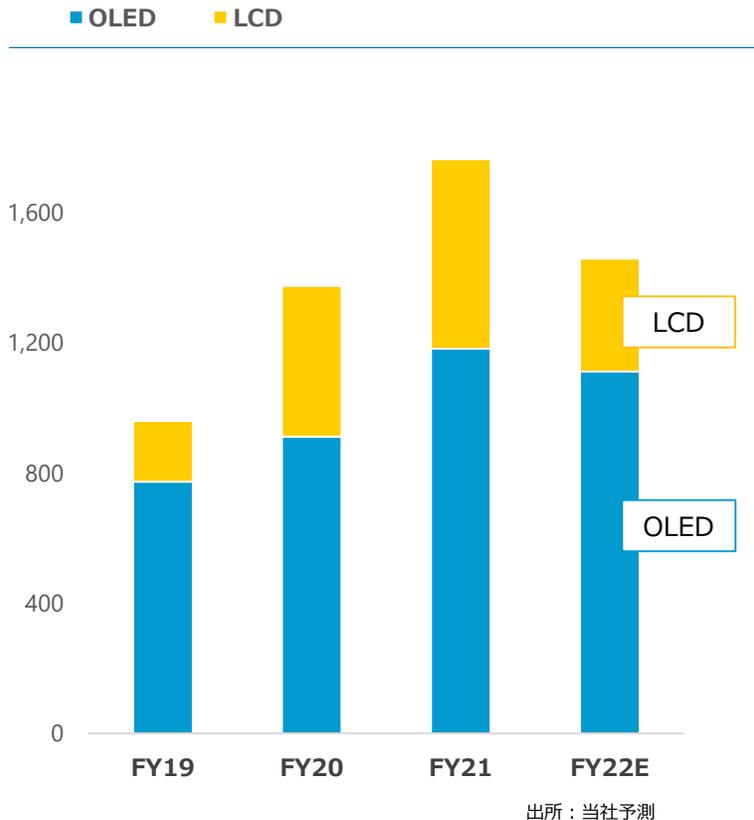
【成長戦略】

カスタマイズ対応 + 価格競争力 (現地設計 + 現地生産)  
→蒸着装置拡販

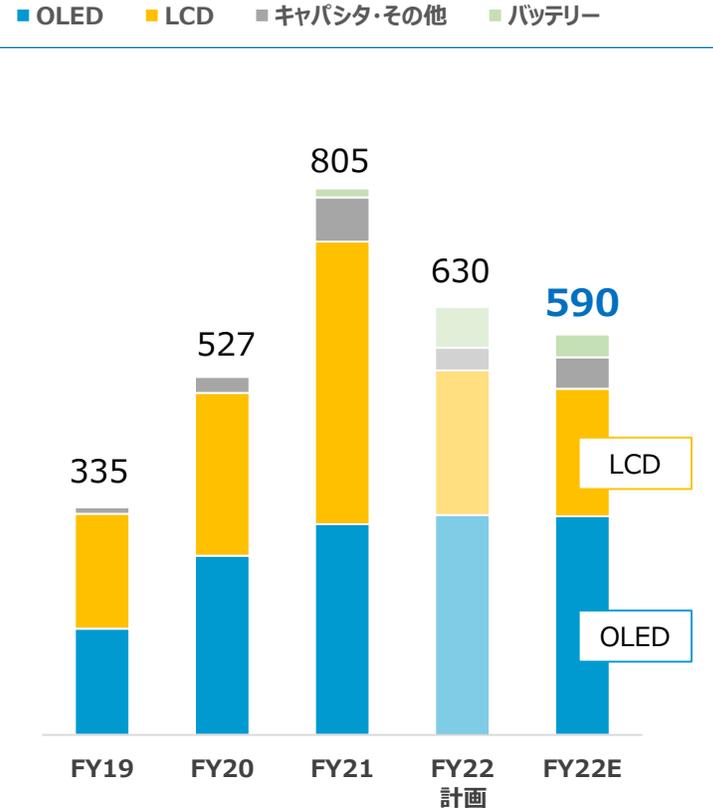
# 5. FPD : OLED化・EVバッテリー用巻取蒸着装置が牽引

- 一部、LCD追加投資やバッテリー投資延期により計画を下回る見込み
- ITパネル用大型基板OLEDのスパッタ装置・バッテリー用巻取蒸着装置中心に受注を見込む

**FPD設備投資動向** 【単位：億円】  
(蒸着・スパッタ)



**受注見込み** 【単位：億円】



## 今期受注

- 前年度に活発化したITパネル用LCD投資の反動減を計画より見込む
- 一部、LCD追加投資やバッテリー投資延期により計画を下回る見込み

## 来期以降

- ITパネル用大型基板OLEDのスパッタ装置・バッテリー用巻取蒸着装置中心に受注を見込む (600億円前後の受注を見込む)

## コンポーネント



### 今期見込み

- 部品長納期化による受注前倒しに加え、EV用Liバッテリー用リークディテクターや分析・理化学機器向け小型ポンプ等が好調

### 来期以降

- 半導体電子、FPD、EV用Liバッテリー関連等で成長を目指す



## マテリアル



### 今期見込み

- FPD関連の装置稼働率低下により一時的に受注減少

### 来期以降

- パワーデバイス等のアナログ半導体向け製品や先端半導体向け高品質焼結ターゲット (W・WSi) シェア拡大実現等により成長を目指す



## カスタマーサポート



### 今期見込み

- パワーデバイス等の電子ビジネス投資活発化・装置稼働上昇に伴い、堅調に推移

### 来期以降

- CIP※ビジネス、新商品開発強化のグローバル展開により成長
- ※Continuous Improvement Program : 改良改善提案

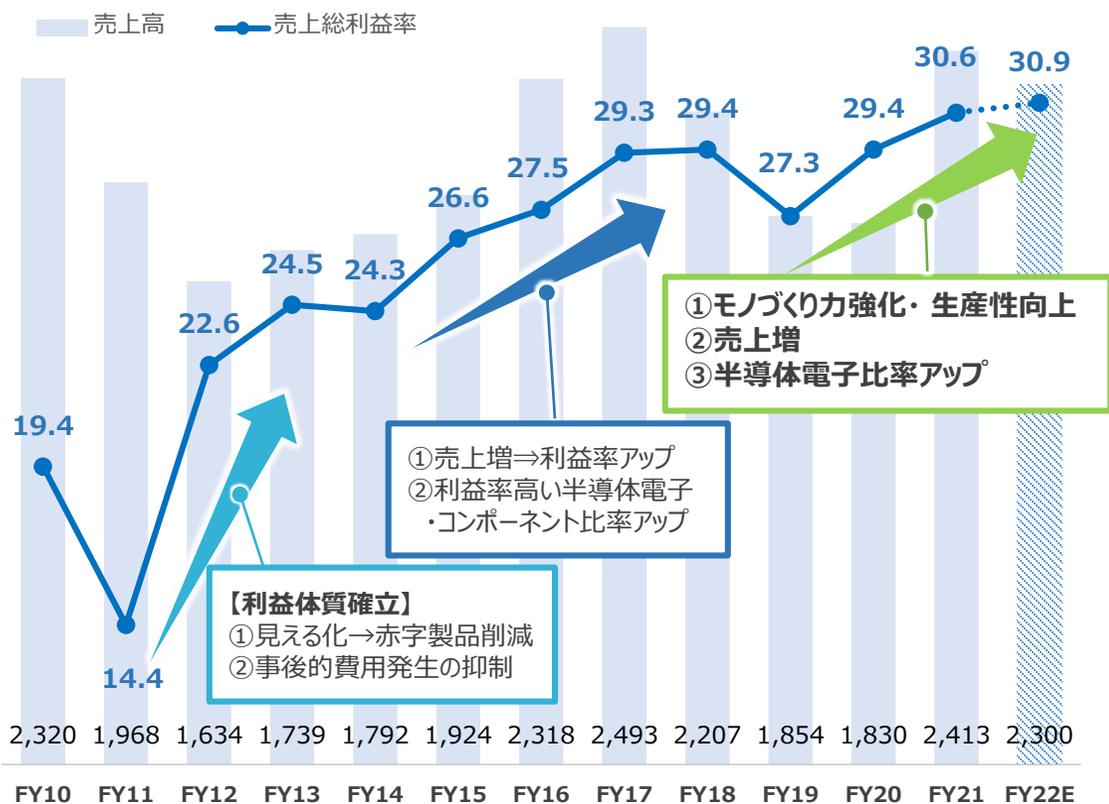


# 7. 利益率改善の取組み

- 半導体電子のミックス改善効果で、売上総利益率は30.9%に改善
- 次期中期経営計画では、半導体電子のミックス改善と売上増加、部品長納期の緩和でモノづくり力強化の成果実現等により、売上総利益率35%以上を目指す

38.0

## 売上総利益率推移【単位：%】



## 利益率改善取組み

### 技術設計の改革

技術図面の完成度向上  
設計バリューエンジニアリング強化



### 購買の改革

購買体制一体化  
グローバル・サプライチェーン

### 生産工程の改革

生産拠点の専門化  
製造生産性向上

### 情報システム基盤強化

業務プロセス標準化  
生産性向上・経営管理の高度化

## 部品長納期化の利益率に与える影響

- ① 工程組替え・二重作業負担・リードタイム長期化等による生産性低下
  - ② 納期交渉優先によりモジュール化・部品共通化等によるボリュームディスカウント不調
  - ③ 部品価格高騰の価格転嫁までのタイムラグ  
⇒モノづくり力強化による利益率改善効果減殺
- ※売上貢献へのタイムラグ（売上低下）も発生

## 基本方針

成長に向けた開発投資（選択と集中）

体質転換による利益重視の経営

### 重点戦略

成長事業の強化  
研究開発力の強化

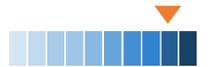
モノづくり力強化

グループ経営効率強化

経営基盤強化

### 成果・進捗評価

- > 半導体：MHM工程に加えて新規顧客・新工程参入で成長
- > 電子：パワー・オプトデバイス等が日本・中国で受注増加
- > FPD：大型基板OLED・EV用バッテリー装置の量産開発中



- > 利益率は着実に改善したが、部品長納期化の影響で頭打ち



- > 国内製造子会社統合、海外子会社統合等



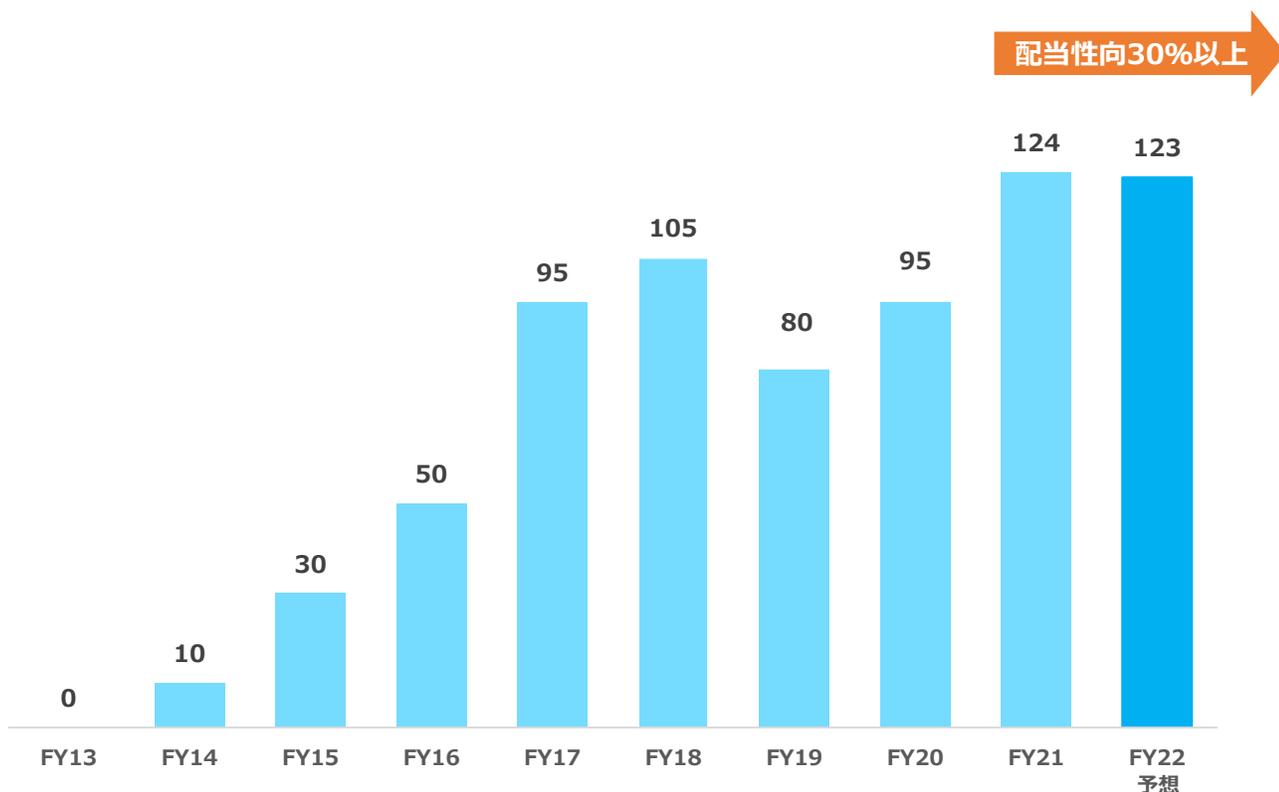
- > 新人事制度導入・教育センター設立
- > 生産性向上に向けた各種システム整備を着実に実施



## 9. 株主還元

- 半導体電子を中心に成長分野への開発投資を強化し、更なる成長を目指す
- 従来より、株主還元を最重要政策の一つと位置づけ、着実に配当を増額  
今後とも、更なる成長実現により長期的な配当増額を目指す
- 業界変動や技術革新の激しい業界にあり、それらのリスクや資金需要に対応するため財務基盤も拡充

1株当たり配当金推移 【単位：円】



# 10. 2023年度以降の成長について

- 次期中期経営計画（3か年）は23年8月に公表予定
- 半導体・電子等の中長期的投資拡大傾向に変わりなく、下記成長ドライバーで市場を上回る成長継続
- 成長分野に開発投資を集中し、売上高3,000億円以上、売上総利益率35%以上、営業利益率16%以上を目指す

## 半導体・電子 市場を上回る成長継続

- ＞ 先端ロジックMHM工程に加え、配線工程等新工程参入・新規顧客参入
- ＞ メモリでもセカンドベンダー期待に応え新工程参入、投資回復への対応
- ＞ 日中のパワーデバイス・各種電子デバイスの技術革新投資への対応・モジュール型装置投入
- ＞ 中国の国産化対応

## FPD

- ＞ 大型基板OLEDのスパッタ装置・バッテリー用巻取り蒸着装置でビジネス基盤構築

## 利益率改善

- ＞ 半導体電子のミックス改善と売上増加、部品長納期の緩和でモノづくり力強化の成果実現等により、売上総利益率35%以上を目指す

## 韓国Technology Center PYEONGTAEK 建設について

半導体事業における研究開発投資の一環として、ULVAC KOREA, Ltd. においてTechnology Center PYEONGTAEKを建設することを決定

Technology Centerは、顧客の近くで製品・技術開発を加速し、コラボレーションと技術サポートを強化することを目的とする

半導体事業を今後の成長の柱として位置づけており、今後も更なる成長を目指して積極的な研究開発投資を継続する

### 【Technology Center PYEONGTAEK概要】

住所：京畿道 平澤市 青北邑 栗北里1029  
(ULVAC KOREA, Ltd.と同工業団地内)

着工：2023年 3月予定

竣工：2024年 3月予定

敷地面積：約11,550㎡

建屋面積：約 13,168㎡(クリーンルーム面積：約 2,008㎡)

投資金額：約60億円



## Value Report 2022発行

### ■ Vision 2032策定

～未来につながる「可能性の場」であり続ける～

### ■ マテリアリティ公表

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献

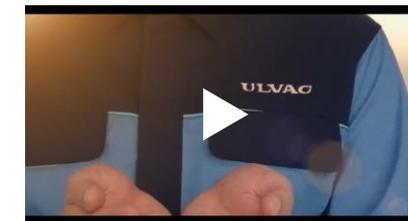
### Value Report 2022



(日本語版)

CLICK HERE

### Vision 2032 詳細動画



# アルバックの価値創造「ココモ、アル。」：中長期的に投資機会拡大



スマート社会・  
デジタル社会実現



グリーンエネルギー化  
低消費電力化

社会的課題解決

メモリ	ロジック IC	センサー	通信デバイス	バッテリー
微細化		高性能化		低消費電力化

スパッタリング	真空薄膜形成技術	コンポーネント
エッチング		マテリアル
真空蒸着		CVD

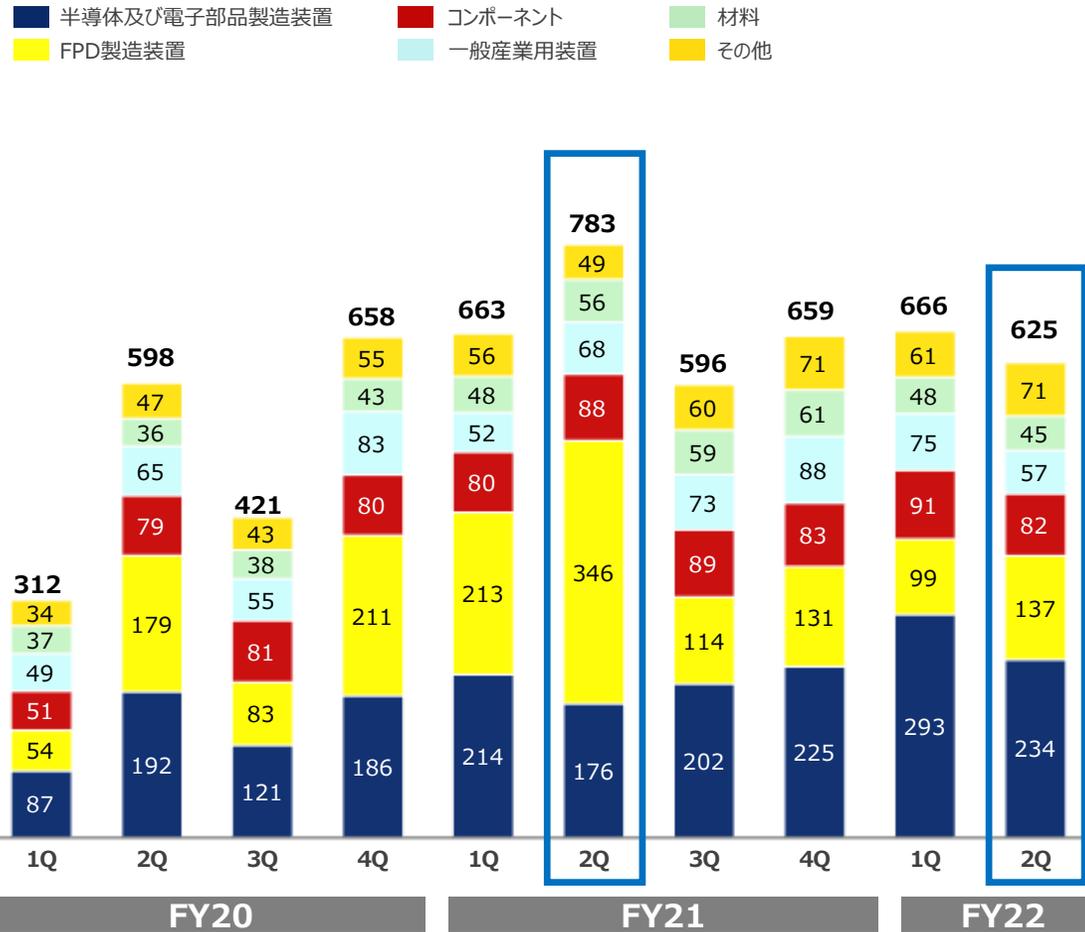


# 補足資料

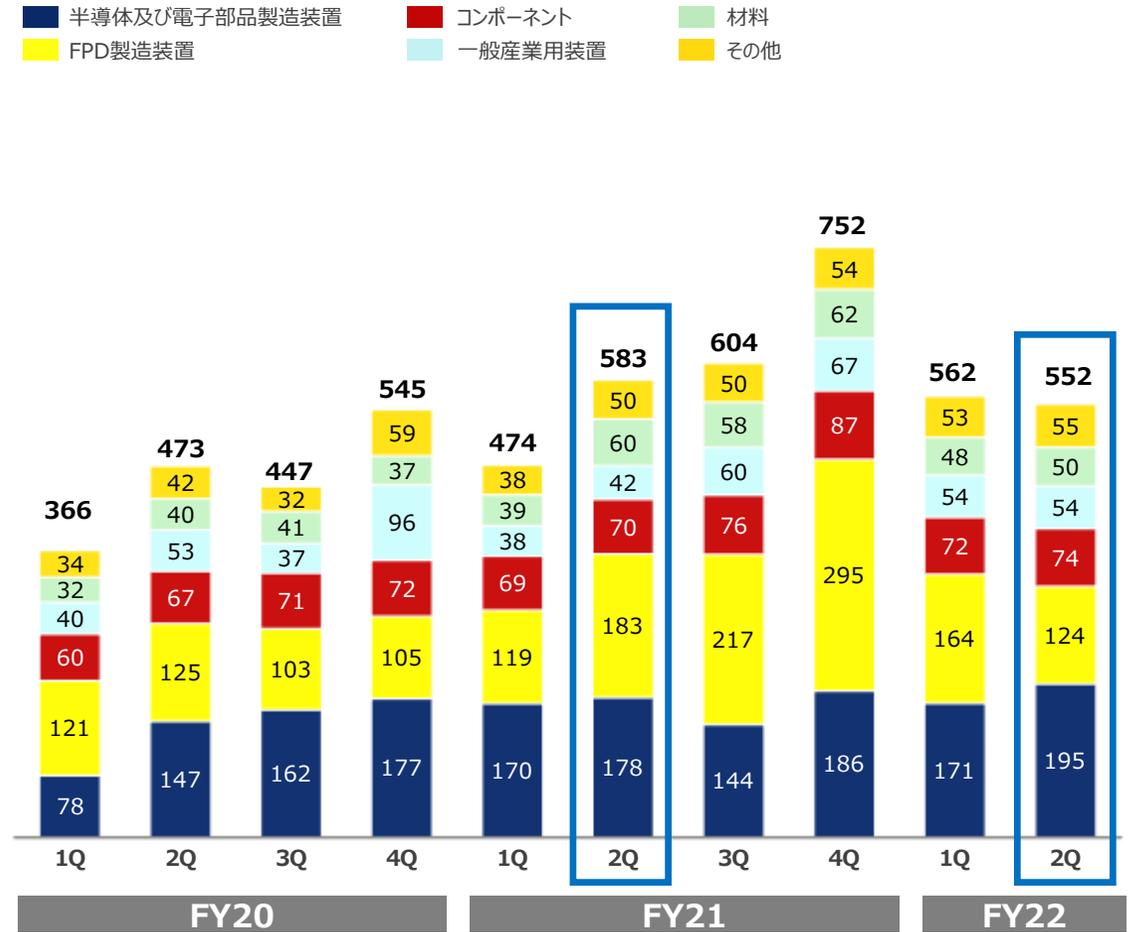
【単位：億円】	2021年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同期比	
							増減額	増減率
受注高	663	783	596	659	666	625	-158	-20%
売上高	474	583	604	752	562	552	-31	-5%
売上総利益	132	189	186	230	165	168	-20	-11%
率	27.9%	32.4%	30.8%	30.6%	29.3%	30.5%	-1.9pt	-
販管費	97	110	105	125	113	115	+4	+4%
営業利益	36	78	81	105	51	53	-25	-32%
率	7.5%	13.5%	13.5%	14.0%	9.1%	9.7%	-3.8pt	-
経常利益	35	85	84	118	52	65	-20	-23%
率	7.4%	14.6%	13.9%	15.6%	9.3%	11.8%	-2.8pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	59	56	64	41	53	-6	-11%
率	4.7%	10.1%	9.3%	8.6%	7.2%	9.6%	-0.6pt	-

# 品目別受注高・売上高推移（四半期）

## 受注高 【単位：億円】

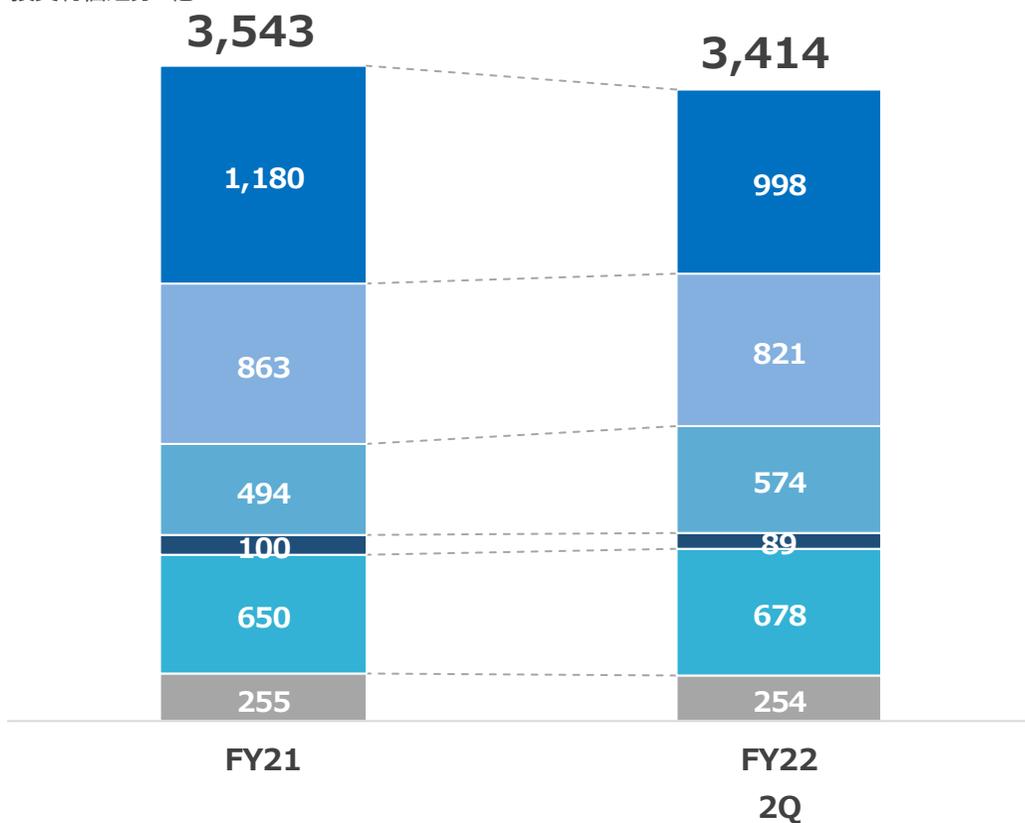


## 売上高 【単位：億円】



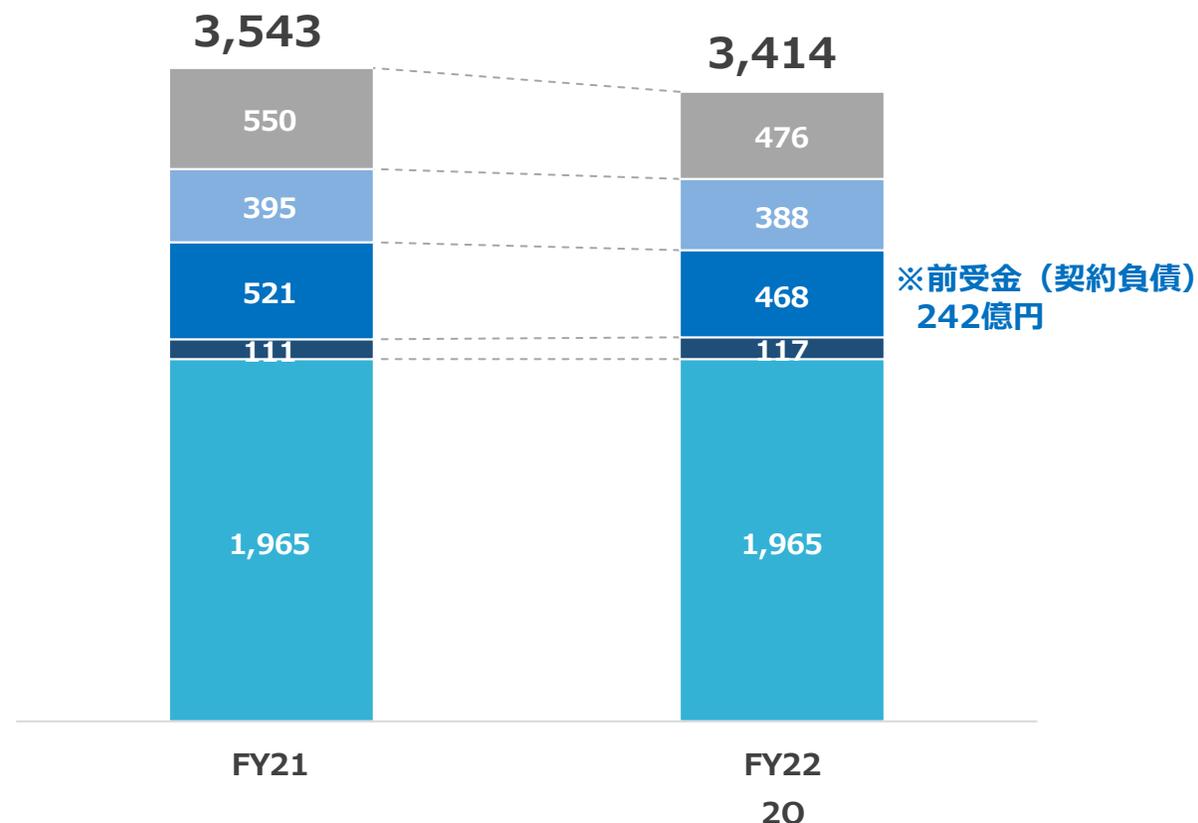
## 資産 【単位：億円】

- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- 棚卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 投資有価証券 他



## 負債・純資産 【単位：億円】

- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産



# さまざまな業界・用途で貢献する アルバックの真空技術



ULVAC